

平成28年3月17日

No. 79

# 日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

## 授業支援・大沼小学校 3年理科・おもちゃショー

3月14日(月)、大沼小学校で実施した3年理科『おもちゃショー』の授業支援を紹介します。

この授業支援は、この時期にたくさんの学校から要請のある活動の一つです。No. 77で河原子小の内容を載せましたが、違った角度から授業の様子を紹介したいと思います。最初に導入として、○×クイズを出し、磁石や電流のワンポイント学習を行いました。



- ① かん電池には+ (プラス) と- (マイナス) がありますが、ついている豆電球のプラスとマイナスをいれかえると豆電球はつかない。 ×
- ② 豆電球をかん電池につなぐ時、豆電球とかん電池の間に長い線を入れてつなぐと、豆電球はくらくらなる。 ○
- ③ かん電池は、メリーゴーランドのようなモーターを回すことができるが、これはプラスとマイナスを入れかえると、反対に回る。 ○

— その他の問題は省略 —

○×クイズの答えは、すぐに実験をして正解を確認させていきます。①と③は、ほとんどの児童が正解しましたが、②は逆にほとんどの児童が不正解で、実験の結果に「うわーくらい。」と、不思議そうな顔をしていました。

児童たちは、楽しみにしている机上のおもちゃショーの実験教具を使って、6つのコーナーをローテーションで体験していきます。

写真は、「私はゴリラに変身(へんしん)」のコーナーです。強力磁石を下に置き、自分の手に小さく切ったモールを振りかけます。すると、**手が見る見るうちに毛むくじゃら**になっていきます。児童たちから「うわーおもしろい。」と笑顔がこぼれていました。メリーゴーランドのコーナーでは、**二つのメリーゴーランドを別々に回す**回路を試行錯誤しながらワニロクリップを使って試していました。どの顔もとても真剣です。



参観していた大沼小・村上和彦校長先生から「子どもたちが、こんなに生き生きと楽しんで活動している様子に感心しました。日立理科クラブの方たちの作ったおもちゃショーの教具がとてもすばらしいからですね。」と、感想を述べていたのがとても印象的でした。

児童たちにとって、日立理科クラブの支援員や理科室のおじさんとの楽しい触れ合いの時間となったことでしょう。



文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一  
日立理科クラブ事務所 Tel/FAX 0294-24-3104

どうやると回るのかな?  
このクリップモーター